

日本英語学会
第 37 回 大会 資料 ・ プ ロ グ ラ ム

The Thirty-Seventh Conference
of
The English Linguistic Society
of Japan

2019 年

11 月 9 日 (土) — 10 日 (日)

関西学院大学

西宮上ヶ原キャンパス

(Kwansei Gakuin University, Nishinomiya Uegahara Campus)

(〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155)

The English Linguistic Society of Japan

後援：関西学院大学

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパスへのアクセス



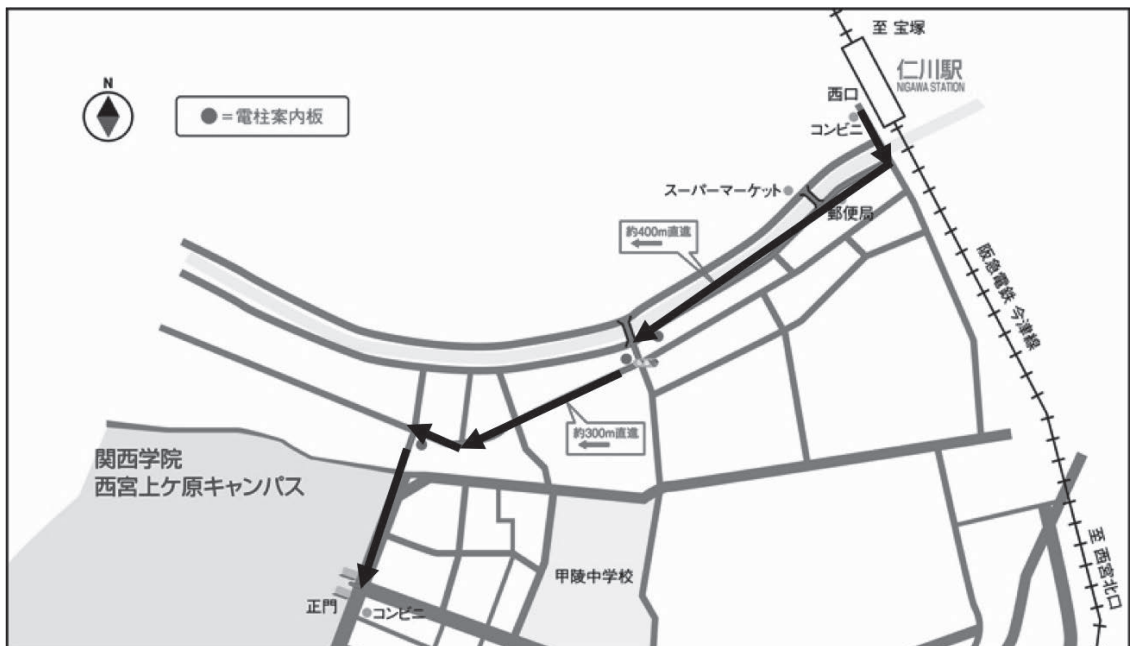
JRをご利用の場合:

- 大阪駅より:
神戸線快速で西宮駅下車。
阪急バス(甲東園行き)で「関西学院前」下車(約 15 分)
- 三ノ宮駅より:
神戸線快速で、西宮駅下車。
阪急バス(甲東園行き)で「関西学院前」下車(約 15 分)

阪急 甲東園駅からキャンパスへのアクセス



阪急 仁川駅からキャンパスへのアクセス



第37回大会スケジュール

- 11月9日(土) 9:30～11:45 ワークショップ
9:30～11:45 スチューデント・ワークショップ
11:30 受付開始
12:00～12:50 総会
12:55～15:05 特別講演
15:15～18:00 公開特別シンポジウム / 公開シンポジウム / シンポジウム
18:20～19:50 懇親会(関西学院会館)
- 11月10日(日) 9:00 受付開始
9:30～12:10 研究発表
13:10～15:55 シンポジウム

大会運営委員

松岡幹就(委員長) 木村宣美(副委員長)
窪田悠介 中村太一 成田広樹 米山聖子 五十嵐海理 遠藤智子 眞田敬介
柚原一郎 漆原朗子 高梨博子 西山淳子 藤川勝也 前田雅子

開催校委員

田中裕幸(代表) 茨木正志郎 今西祐介 浦啓之 杉崎鉦司 山田一美 山本圭子

開催校協力委員

楠本紀代美(関西学院大学) 工藤和也(龍谷大学) 平崎永里子(園田学園女子大学)

- 受付で大会参加費2,000円と引き換えに、Conference Handbook(Conference Handbook(CH), 今大会は試験的にCHの電子化も行っています。詳しくは学会HP(<http://elsj.jp/meeting/>)をご覧ください。)と名札をお受け取りください。(非会員の方も参加できます。)
- 大会期間中(9日・10日)は車での来場はできません。
- 食堂については、9日(土)と10日(日)の両日とも、学生会館旧館内BIG MAMAをご利用いただけます。営業時間は9日が11:00～14:30、10日が11:00～14:00となります。
- 指定喫煙区画を除き、キャンパス(校舎内および通路)は禁煙です。指定喫煙区画についての詳細は、関西学院大学HPをご覧ください。会場でのトイレにつきましては、本冊子「会場案内図」や会場の掲示にて場所をお確かめのうえご利用ください。
- 大会会場に「親と子の部屋」という保育室を設けます(事前予約制)。「親と子の部屋」の詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。
- 大会期間中に不測の事態が生じた場合は本部までご連絡をお願いいたします。

会 場 案 内

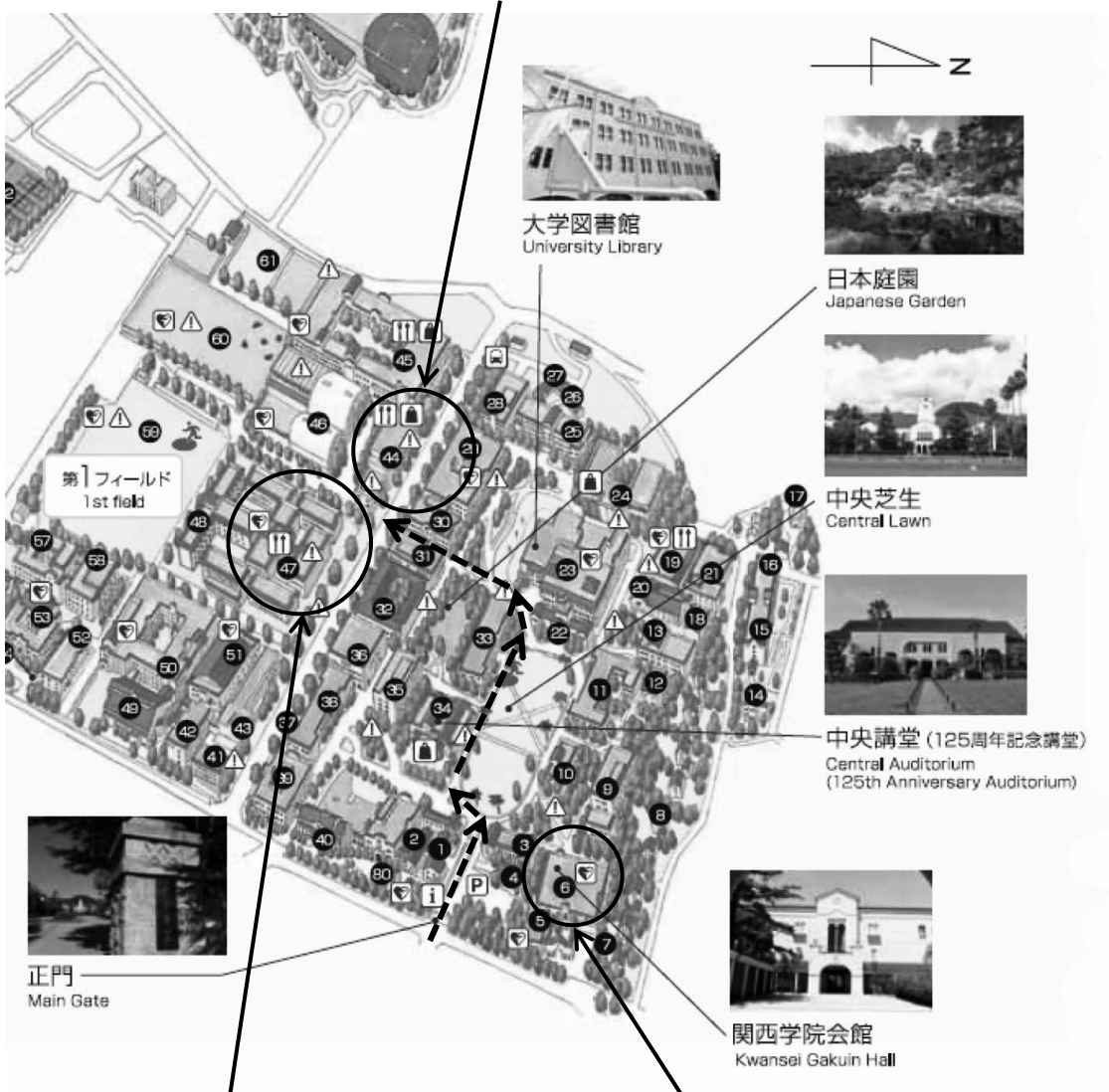
関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス (〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155)

受付		G号館2階	209
本部		G号館1階	102・103
控室	開催校(協力)委員控室	G号館1階	104
	司会者・発表者・講師控室	G号館1階	107
	一般控室	G号館1階	106
	書籍展示	G号館2階	203・204・205・ 207・208
第1日午前 (9:30~11:45)	<ワークショップ>	第1室	G号館2階 201
		第2室	G号館2階 202
		第3室	G号館2階 IS208
	<スチューデント・ワークショ ップ>	第4室	G号館2階 IS206
第1日午後 (12:55~15:05)	<特別講演>	第I室	G号館2階 201
		第II室	G号館2階 202
(15:15~18:00)	<シンポジウム>	A室	G号館2階 201
	<公開シンポジウム>	B室	G号館2階 IS206
	<シンポジウム>	C室	G号館2階 IS208
	<公開特別シンポジウム>	D室	G号館3階 301
第2日午前 (9:30~12:10)	<研究発表>	第一室	G号館2階 201
		第二室	G号館2階 202
		第三室	G号館2階 IS206
		第四室	G号館2階 IS208
		第五室	G号館1階 IS106
		第六室	G号館1階 IS108
第2日午後 (13:10~15:55)	<シンポジウム>	E室	G号館2階 201
		F室	G号館2階 IS206
		G室	G号館2階 IS208

総会	11月9日(土) 12:00~12:50	G号館3階	301
懇親会	11月9日(土) 18:20~19:50	関西学院会館	
		会費:4,000円(学生3,000円)	

関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス案内

昼食・売店：④ 学生会館旧館(食堂 BIG MAMA・大学生協)



受付・研究発表会場：④ G号館

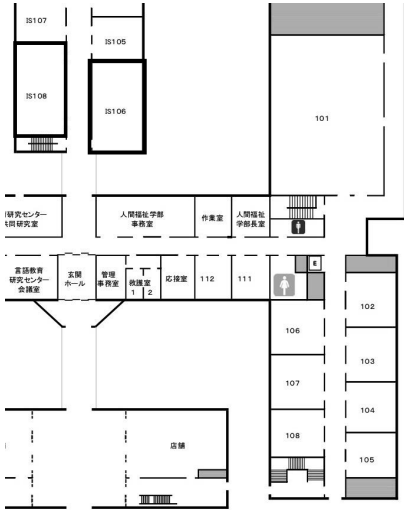
懇親会：⑥ 関西学院会館

正門から、点線矢印に沿ってお進みください。

G号館の2階への入り口に到着します。

会場案内図

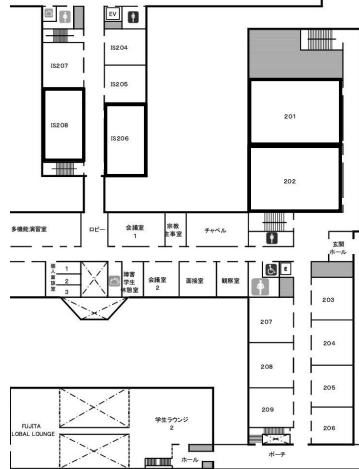
G号館 1階



	1日目	2日目
IS106		研究発表 第五室
IS108		研究発表 第六室

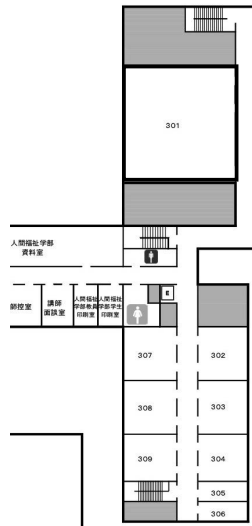
一般控室	106
司会者・発表者・講師控室	107
大会本部	102・103
開催校(協力)委員控室	104

G号館 2階



受付	209
書籍	203・204・205・
展示	207・208

G号館 3階



	1日目	2日目
201	ワークショップ 第1室 特別講演 第1室 シンポジウム A室	研究発表 第一室 シンポジウム E室
202	ワークショップ 第2室 特別講演 第2室	研究発表 第二室
IS206	ワークショップ 第4室 公開シンポジウム B室	研究発表 第三室 シンポジウム F室
IS208	ワークショップ 第3室 シンポジウム C室	研究発表 第四室 シンポジウム G室

	1日目	2日目
301	総会 公開特別シンポジウム D室	

第 37 回大会プログラム

日本英語学会

第 1 日 11 月 9 日 (土)

ワークショップ 9 時 30 分より 11 時 45 分まで

- 第 1 室 「言語の多様性再考：外在化の観点から」 (G 号館 2 階 201)
企画者 北田伸一 (東京理科大学)
- 第 2 室 “Exploring Pair-Merge of Heads” (G 号館 2 階 202)
企画者 Nobu Goto (Toyo University)
- 第 3 室 「英語史における形式の出現と消失について
—生成文法理論による説明」 (G 号館 2 階 IS208)
企画者 近藤亮一 (弘前大学)

スチューデント・ワークショップ 9 時 30 分より 11 時 45 分まで

- 第 4 室 「意味論・語用論的な分析が求められる言語現象とは何か」 (G 号館 2 階 IS206)
企画者 水谷謙太 (大阪大学大学院)

ワークショップのプログラムは応募された企画書に基づくものです。
正式なタイトル、発表者については別紙のワークショップ・プログラムをご覧ください。

受 付 11 時 30 分より (G 号館 2 階 209)

総 会 12 時より 12 時 50 分まで (G 号館 3 階 301)

- | | | | |
|------------|------------|-------|------------|
| ◇開会の辞 | 会 長 | 廣瀬幸生 | (筑波大学) |
| ◇開催校代表挨拶 | 関西学院大学文学部長 | 片山順一 | |
| ◇委員会・事務局報告 | | | |
| 大会運営委員会報告 | 委 員 長 | 松岡幹就 | (山梨大学) |
| 編集委員会報告 | 委 員 長 | 西岡宣明 | (九州大学) |
| 広報委員会報告 | 委 員 長 | 大名 力 | (名古屋大学) |
| 事務局報告 | 事務局長 | 和田尚明 | (筑波大学) |
| 学会賞委員会報告 | 委 員 長 | 水口志乃扶 | (神戸大学名誉教授) |
| ◇授賞式 | | | |

特別講演 12時55分より15時05分まで (各発表の間に10分の休憩)

第I室

(G号館2階 201)

司会 窪田悠介 (国立国語研究所)

12:55 戸次大介 (お茶の水女子大学) 「理論言語学に基づく自然言語理解の最前線」

司会 西山淳子 (和歌山大学)

14:05 Kentaro Nakatani (Konan University) “Linguistic competence, performance, entailment, and inference—How is our mental system organized?”

第II室

(G号館2階 202)

司会 藤川勝也 (富山大学)

12:55 山口治彦 (神戸市外国語大学) 「対話空間と談話の文法」

シンポジウム 15時15分より18時まで

A室 「統語-音韻インターフェイスに必要な情報の表示をめぐって」

(G号館2階 201)

司会 漆原朗子 (北九州市立大学)

講師 木村博子 (千葉工業大学) 「削除が意味解釈に及ぼす影響について」

成田広樹 (東海大学)

講師 漆原朗子 (北九州市立大学) 「複合語の音韻的実現およびオノマトペ述語の意味解釈に必要な情報」

講師 渡辺明 (東京大学) 「Pred⁰」

ディスカッサント 多田浩章 (福岡大学)

B室 “The Semantics of Intensional Phenomena” (公開)

(G号館2階 IS206)

司会 Christopher Tancredi
(Keio University)

講師 David Oshima (Nagoya University) “How “should” works: With a special focus on the issue of supererogation”

講師 Junri Shimada (Keio University) “Mass nouns and intensionality”

講師 Joseph Tabolt
(University of
Electro-communications)

講師 Christopher Tancredi
(Keio University) “Toward a one-world semantics”

C室 「話しことばの研究と「スタンス」: 言語形式から社会的アイデンティティまで」

(G号館2階 IS208)

司会 山下里香 (関東学院大学)

講師 鈴木亮子 (慶應義塾大学) 「会話における繰り返し: 動的なスタンス構築」

講師 山下里香 (関東学院大学) 「児童の会話におけるスタンススタイルおよびコードの選択」

講師 高梨博子 (日本女子大学) 「観光場面の対話におけるスタンス行為」

講師 岩田祐子 (国際基督教大学) 「二言語による社会化: 創発的・多層的なスタンス構築とイデオロギー」

公開特別シンポジウム 15時15分より18時まで

D室 「ことばは現実をどう捉えるか—ことばの対照研究のおもしろさ—」 (G号館3階 301)

- 司会 廣瀬幸生 (筑波大学)
講師 松本 曜 (国立国語研究所) 「移動事象の言語化：実験調査による英語と日本語との対照」
講師 井上 優 (麗澤大学) 「話し手の気持ちは言語にどう反映されるか—日本語と中国語の場合—」
講師 岡本順治 (学習院大学) 「ドイツ語の心態詞と日本語の終助詞を使った『驚き』と『独白』の表示：その共通性と違い」
講師 渡邊淳也 (東京大学) 「フランス語の語彙の抽象性・操作性と日本語の語彙の具象性・指示性」

※当シンポジウムは言語系学会連合との共催です。

懇親会 18時20分より19時50分まで
関西学院会館
会費：4,000円 (学生3,000円)

第2日 11月10日 (日)

午 前

受 付 9時より (G号館2階 209)

研究発表 9時30分より12時10分まで (第2発表と第3発表の間に10分の休憩 それ以外は5分の休憩)

第一室 (G号館2階 201)

- 司会 前田雅子 (西南学院大学)
9:30 小林亮哉 (名古屋大学大学院) 「Labeling Algorithm に基づく主語・補語倒置の分析」
10:10 齋藤章吾 (東北大学大学院) 「Labeling Algorithm と Copy Deletion」
司会 成田広樹 (東海大学)
10:55 中島崇法 (東北大学) 「ラベル付けの最小探査領域について」
11:35 内芝慎也 (無所属) 「ラベリングと自由併合に関する問題と転写の効果とパラメーター」

第二室 (G号館2階 202)

- 司会 中村太一 (福井大学)
9:30 Xue-Ying Hu (Gifu University)
Hideki Maki (Gifu University) “What does the Unavailability of Genitive Subject in Naxi Suggest?”
10:10 菅野 悟 (東京理科大学) 「長距離素性継承を用いたラベル付けと名詞句内部からの抜き出し」

- 司会 木村宣美 (弘前大学)
- 10:55 田中祐太 (名古屋大学大学院) 「名詞句内における値未付与素性の役割とその帰結」
- 11:35 Takashi Munakata “Featural Approach to Distinction of Copies and Repetitions”
(Yokohama National University, Part-time Instructor) [招聘]

第三室

(G号館2階 IS206)

- 司会 柚原一郎 (首都大学東京)
- 9:30 土橋善仁 (新潟大学) [招聘] 「一致形態の豊かさと音韻句の関係について」
- 10:10 西牧和也 (新潟食料農業大学) 「形態的有標性の仮説」と「競合理論」：日英語の「強い結果構文」を巡って
- 司会 漆原朗子 (北九州市立大学)
- 10:55 高橋英也 (岩手県立大学) 「受け身「ラレ」の形態分離と繫属述語仮説」
- 中島 崇 (富山県立大学)
- 11:35 石田崇 (筑波大学大学院 / 日本学術振興会特別研究員) 「英語の接頭辞付き関係形容詞について」

第四室

(G号館2階 IS208)

- 司会 遠藤智子 (東京大学)
- 9:30 小倉美知子 (東京女子大学) 「Hunger (v.) か be hungry (be + adj.) か—通時的選択」
- 10:10 Junichi Toyota (Osaka City University) “The origin of the *get*-passive revisited”
- 司会 藤川勝也 (富山大学)
- 10:55 平田拓也 (名古屋大学大学院) 「混合動名詞の出現と衰退について」
- 11:35 近藤亮一 (弘前大学) 「英語史における *How come* 構文の起源と発達について」
- 玉田貴裕 (皇學館大学)

第五室

(G号館1階 IS106)

- 司会 西山淳子 (和歌山大学)
- 9:30 森 貞 (福井工業高等専門学校) 「言語における leakage 現象」
- 10:10 菊池由記 (大阪大学大学院) 「*N-free X* と *N-less X* の構文形態論に基づく分析」
- 司会 窪田悠介 (国立国語研究所)
- 10:55 本多正敏 (横浜商科大学) 「情報焦点移動と強調—形容詞の前置を伴う *Preposing around Be* を事例として—」
- 11:35 堤博一 (東北大学大学院) 「束縛と作用域の再構築効果のずれ」

第六室

(G号館1階 IS108)

- 司会 高梨博子 (日本女子大学)
- 9:30 大室剛志 (名古屋大学) [招聘] 「構文イディオム化とその後の展開」
- 10:10 堀内ふみ野 (大東文化大学) 「子どもの前置詞句単独発話—談話的文脈と前置詞ごとの相違の観点から—」

司会 眞田敬介 (札幌学院大学)
10:55 石川和佳 (筑波大学大学院)

「文脈における 2 種類の道具主語構文: 焦点と集合に含まれる要員に着目して」

11:35 山内昇 (大同大学)

「Speaking of 構文の成立過程に関する考察: 構文化の観点から」

午 後

シンポジウム 13 時 10 分より 15 時 55 分まで

E 室 「フェーズ境界を超える意味・音声解釈—フェーズ理論に基づく言語インターフェースの研究—」

(G 号館 2 階 201)

司会 金子義明 (東北大学)
講師 金子義明 (東北大学) 「解釈プロセスの非局所的適用の可能性について」
講師 高橋将一 (青山学院大学) 「下降外置: 併合と局所性について」
講師 稲田俊一郎 (明治薬科大学) 「制限的關係節における共有構造」
講師 瀧田健介 (同志社大学) 「等位接続された残余句を含むスルーシングと島の修復」
中村太一 (福井大学)
前田雅子 (西南学院大学)

F 室 「モダリティ研究の広がり—主に認知と談話の観点から—」

(G 号館 2 階 IS206)

司会 眞田敬介 (札幌学院大学)
講師 長友俊一郎 (関西外国語大学) 「英語法助動詞を用いて述べられる事柄の特徴」
講師 眞田敬介 (札幌学院大学) 「根源的 must のさらなる使用依拠的研究に向けて—周辺部に生起する評言節 I must say の談話機能分析—」
講師 遠藤智子 (東京大学) 「認識動詞を用いた話し手の態度表明—認識的モダリティと認識的スタンス—」
講師 鈴木大介 (摂南大学) 「モダリティと多機能性—多様な語順を生む副詞の効果—」

G 室 「破格構文・例外的現象から見える言語の一般的特性」

(G 号館 2 階 IS208)

司会 金谷 優 (筑波大学)
講師 三野貴志 (大阪大学大学院) 「一般動詞を伴う There 構文の構文論的分析: 構文の機能と動詞 (クラス) 特定構文の関わり」
講師 辻早代加 (大阪市立大学 (非常勤)) 「win クラスの二重目的語構文の周辺性と一般性について」
講師 金谷 優 (筑波大学) 「言語知識としての構文ネットワーク: because 構文を例に」
講師 住吉 誠 (関西学院大学) 「フレーズ接続副詞としての add to that: 文接続への示唆」

※特別講演、研究発表およびシンポジウムの発表要旨は、9 月上旬に日本英語学会のウェブサイトに掲載の予定です。

2019年9月15日発行

編集・発行 日本英語学会

代表者 廣瀬 幸生

発行所 日本英語学会

<http://elsj.jp/>

〒113-0023

東京都文京区向丘 1-5-2

開拓社内

電話 (03) 5842-8900

印刷所 共栄印刷株式会社

© 日本英語学会 2019
